

# 長崎北病院 伝言板 3月号

令和4年3月1日発行

3月。逃げ月2月があっという間に通り過ぎ、「木草弥生い茂る（きくさいやおいしげる、草木が生い茂る）」月、弥生3月。梅花の白が退き、桃花のピンクに席を譲る。早咲きの桜も咲き始めています。朝の光も強く高くなり目を射る。季節は着々と進む。春です。



## 同じ人間ができるのに

春きたれども心は晴れず。コロナがなかなか減らない。やれることは全てやっているつもりだが、もどかしい。進学、就職、転勤。人が動く季節。動きたい動けない。心配は尽きない春。

今の日本はコロナが最大の問題、悩み。しかし、それどころではない国もある。「人に迷惑をかけてはいけない、形あるものを壊してはいけない」。人間として当たり前のことが通じない人、国が隣にある悲劇。恐怖のストーカー。理屈も通じず、理性も無くせば無敵。亡くなった人の数が毎日出る。百、千、万。数字には痛みも悲しみもない。数字では1でも一人一人には命があり、家族もいる。しかし、その人の明日が奪われる。それが分からない人がいる。どうすれば止まるのか見当もつかないが祈る。よく考えると日本の隣人でもある。こっちを見ないで、来ないで。



明るい話題が少ない。北京パラリンピックが3月4日に開幕するが話題になることも少なく盛り上がらない。

だいぶ前のような気がするが北京オリンピック(2/4~2/20)が閉幕してからまだ10日しか経っていない。氷の上など立つことさえ困難な私には縁遠い競技ばかりではあるが、ひたすらに速さや技術を競う姿は理屈無しに感動する。目を奪われる。勝者も敗者も輝く。一瞬に賭けるために努力を重ねて来たアスリート。

その言葉や行動も感動を呼ぶ。私たちを何日も釘付けにしたカーリング。おかげでルールや技術に詳しくなりました。最後にストーンを投げるスキップの藤澤五月選手。手の甲に何か英語の文字が書いてありました。“I am a good curler. I have confidence! Let's Have Fun! (私はいい選手だ。自信がある。楽しもう!)”。自分を鼓舞し、実力を発揮できるおまじない。外国でも「the best life mantra(人生最高のおまじない)」と話題になっていました。去年のプロ野球日本一になったヤクルトスワローズの高津臣吾監督が言う「絶対大丈夫」にも通じます。努力を重ねた後は自分を信じる。自分はできる。自信と楽しむ心がもう一步先に進ませる。



1人でメダル4個を獲得した高木美帆選手。2010年バンクーバーオリンピックに中学生で選ばれたが1000mで最下位。2014年ソチオリンピックは選考会で敗れ出場もできなかった。このオリンピックでは日本のスピードスケート陣はメダル0と惨敗。再建のためにヘッドコーチに招聘されたのがスケート大国オランダの新進気鋭の指導者ヨハン デ・ヴィット。当時高木選手が金メダルのオランダ人選手の話をしているとヨハンコーチから声をかけられたそうです。「同じ人間ができるのに、なんで自分にはできないと思うんだ」と問われた。金メダルの選手もオリンピックに出られなかった自分も同じ人間、同じアスリート。努力すれば道はある。その言葉があったから、挑み続けることができたという。そして復活。2018年平昌オリンピックでは1500m銀、1000m銅メダル。団体パシュート金メダル。挑み続けて今回北京オリンピック。1000m金、1500m銀、500m銀、団体パシュート銀。日本人がよく口にする言葉に「私なんか」という言葉がある。自分が頂点であればそれは謙遜、美德となる。しかしできない人が「私なんか」はただの言い訳、逃げでしかない。「同じ人間ができるのに、なんで自分にはできないと思うんだ」。「私はできる」。その意気や良し。PS:あいつは人間じゃない? それは困る。(S.A.)

